

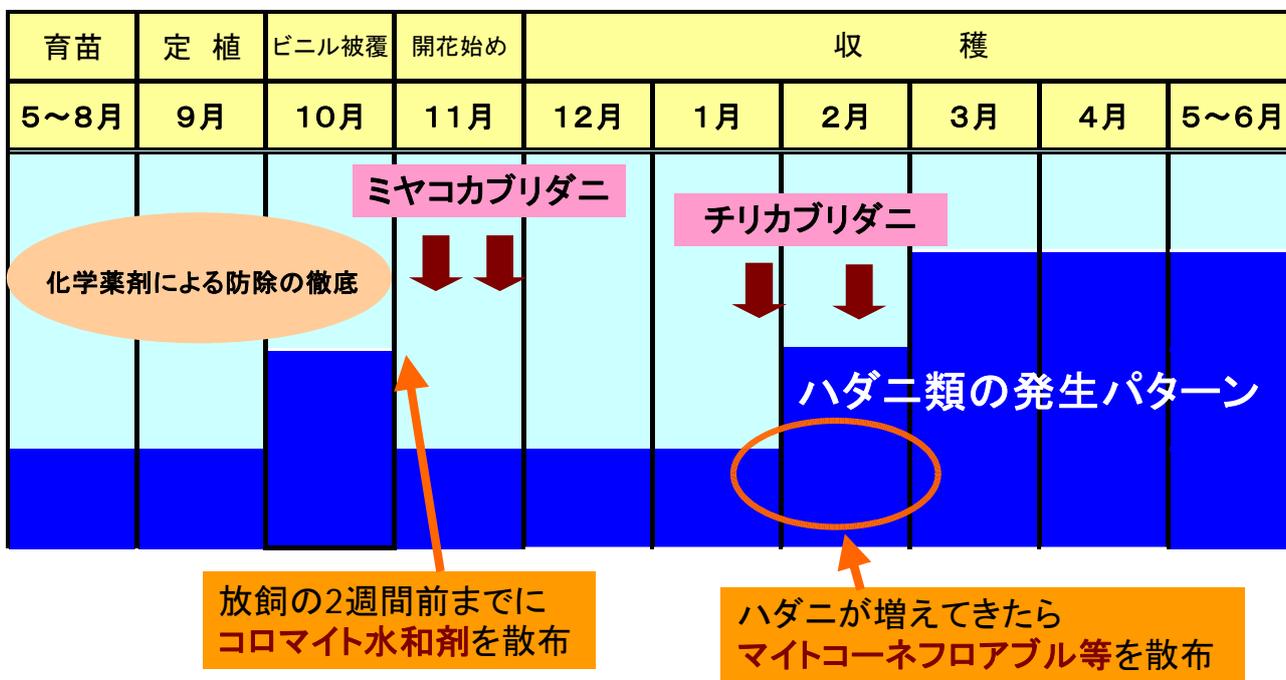


## 促成イチゴにおけるカブリダニ類を利用したハダニ類の防除体系

促成イチゴに発生するナミハダニとカンザワハダニは薬剤抵抗性を獲得しやすいことと有効な薬剤が少ないことから化学薬剤に依存した防除が難しくなっています。そこで、ハダニ類を捕食するカブリダニ類の利用を主体とした防除体系を確立しました。

### 【技術のポイント】

1. 育苗期には化学薬剤（コテツフロアブル等）による防除を徹底する。
2. 定植後～ビニル被覆前までは上記同様に化学薬剤による防除を徹底する。この時期にはカブリダニ類に影響の強い薬剤（合成ピレスロイド剤など）の利用は避ける。
3. ビニル被覆後、カブリダニ類放飼2週間前までにコロマイト水和剤等を散布し、ハダニ類の発生源をできる限りなくす。
4. 開花期頃（11月上旬～中旬）にミヤコカブリダニを放飼する。
5. 12月～1月にハダニ類の発生を認めた場合は、カブリダニ類には影響の少ない選択性殺ダニ剤（マイトコーネフロアブル、ダニサラバフロアブルとアカリタッチ乳剤等）を散布する。
6. 1月～3月上旬までにチリカブリダニを少なくとも2回放飼する。
7. 3月以降にハダニ類が増加した場合は、上記5. 同様にカブリダニ類には影響の少ない選択性殺ダニ剤（マイトコーネフロアブル、ダニサラバフロアブルとアカリタッチ乳剤等）を散布する。



問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所 病害虫担当

TEL (0883) 24-2217

FAX (0883) 24-2305

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>